

令和6年度 社会福祉法人桜楽会 特別養護老人ホームのどか 事業報告

令和7年5月19日

基本理念 あなたの心の拠りどころでありたい
 嬉しいときは、一緒に笑おう
 悲しいときは、一緒に泣こう
 愉しく、のどかに地域と歩む

基本方針

- 1 自己研鑽に励み、誠実な介護を提供します。
- 2 感謝の心を忘れず、責任感をもって行動します。
- 3 地域の一員として社会に貢献します。

長期目標（～令和10年）

安定した運営
 質の高いケアサービスの提供
 働きやすい職場
 地域に根差した福祉拠点

中期目標（～令和7年）

安定した稼働率
 職員のケアサービスレベルの向上
 風土変革

1：所在地 津山市神戸262-2

2：利用定員 令和7年3月末時点 60名

3：職員定数 令和7年3月末時点

| 職種 | 人数 | 職種 | 人数 | 職種 | 人数 |
|----------------------------|----|---------|----|-------|----|
| 施設長 | 1 | 機能訓練指導員 | 1 | 管理栄養士 | 2 |
| 事務長 | 0 | 看護職員 | 4 | 事務職員 | 2 |
| 生活相談員 | 1 | 介護職員 | 27 | 清掃職員 | 3 |
| 介護支援専門員 | 1 | | | | |
| 合計 名（別に嘱託医3、宿直員1）、（ ）内は非常勤 | | | | | |

4：職員採用 介護職員 6名 介護支援専門員 1名 看護職員 2名 清掃 1名
 管理栄養士 1名 宿直 1名
 離職 介護職員 7名 看護職員 4名 清掃 1名

5：事業運営

中長期目標を念頭に置き1年の報告をさせていただきます。

まず、平均稼働率約93%の実績となり、昨年度を下回る実績となっています。中期目標の安定した稼働率の達成には至っていない現況になっています。原因として考えられるのは、申し込みから入所までの過程に日数がかかりすぎていること。一度に空床になった場合に対応が追いついていないこと。重度の医療依存度の高い方が多く、入院日数が多いこと。また、新規の申し込みが減少している事などが考えられます。今後は相談員だけでなく、介護支援専門員や看護師なども加わり、余裕をもって対応していけるようにしておく。また、日々の健康管理、ケアの質を向上させ、健やかに過ごせるように支援していくこと。近隣の病院や介護事業者、行政等との連携、新規開拓を強化していきたいと考えています。もちろん地域の方から選ばれる施設運営を行っていくことが基本であり、稼働率に大きく影響するものと考えていますので、日々の取組をしっかりと行っていこうと思います。

職員の一人一人のケアのレベル向上は、日々のケアの中での指導助言、研修等で少しずつ向上できていると実感しています。特に重度の方へのケアの視点は、多職種で連携する中で知識や技術の向上が感じられました。特に認知症の方への臨機応変な対応や緊急時対応など、みんなで考える場面を作り、ご家族からも感謝されることもありました。半面、細かい部分を指摘されることもありました。そのためユニットの核となるリーダーの資質の向上が必要であり実践研修やリーダー研修参加や毎月のリーダー会議などで指導を行いました。今後も継続していきたいと思っています。

風土変革という中期目標に対しては、日々のケアのレベル向上での指導の中でも触れてきたつもりですが、昨年から実施している「グランドルール」も継続してきました。毎日唱和して仕事を始めるユニットもあり、常に意識ができるようになってきたという職員がいる反面、建設的な話し合いが難しい場面等がありました。敬老会やさくらまつりなどの行事に向けての取組みなどは、一緒に考えて前向きに行動できる職員も多く見られました。そういった中、外国人職員も多くなり、統一した指導方法の確立も課題です。今後は外国人職員用の理解しやすい研修や、日本人職員に向けても指導方法などの研修を実施予定です。意見が言いやすく、チームで協力しながら、みんなで同じ方向を向いて業務遂行していけるように継続して取り組んでいきます。

6：入所者様への処遇

別紙1 参照

7：地域との連携

別紙1 参照

8：関係機関・人との連携

協力医療機関、高齢介護課、美作県民局や各種介護保険事業所や医療機関等とその都度連携を図ることが出来ました。

9：ボランティアの活用

4月13日 さくら祭り手伝い
10月5日 ジブラルタ生命保険会社 清掃、ウエス切り
9月～2月 親子2名 清掃、ウエス切り

10：広報啓発

財務諸表等についてはホームページと玄関に閲覧できるようにしています。

施設内の状況のお知らせは「のどか新聞」を作成し、1月と7月に発行しています。

11：職員の資質の向上

別紙1 参照

12：職員への福利厚生

インフルエンザ予防接種実施

6月と12月に健康診断を実施（夜勤者は2回、日勤者は1回）

互助会への入会、誕生月にケーキをプレゼント、退職金制度への加入随時実施

13：災害・火災避難訓練等

別紙2 参照

14：医療連携

藤本 宗平 （芳野病院）

大谷 公彦 （大谷病院）

中島 弘文 （中島病院）

※ 協力歯科医療機関 歯科医師

浦上 清（浦上歯科医院）

15：入所者の状況について

別紙3 参照

16：技能実習生への支援

令和7年2月13日 インドネシアから2名技能実習生受け入れ

令和7年3月22日 フィリピンからの技能実習生1名実習終了にて退職

生活面での支援は、その都度相談に乗ったり、体調不良時の病院受診の送迎付き添いなど行いました。日々の現場での指導は、翻訳機を使用しながらゆっくりと丁寧に指導を行っています。飲み込みも良く、真面目に実習できています。